

みずほCustomer Desk Report 2024/10/08号(As of 2024/10/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	148.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	148.78	1.0970	163.16	1.3123	0.6797
SYD-NY High	149.10	1.0987	163.57	1.3133	0.6810
SYD-NY Low	147.83	1.0955	162.32	1.3060	0.6744
NY 5:00 PM	148.21	1.0975	162.64	1.3085	0.6759
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,954.24	▲ 398.51	日本2年債	0.4000%	0.0400%
NASDAQ	17,923.90	▲ 213.95	日本10年債	0.9200%	0.0400%
S&P	5,695.94	▲ 55.13	米国2年債	3.9942%	0.0714%
日経平均	39,332.74	697.12	米国5年債	3.8653%	0.0633%
TOPIX	2,739.39	45.32	米国10年債	4.0266%	0.0584%
シカゴ日経先物	39,085.00	▲ 700.00	独10年債	2.2485%	0.0380%
ロンドンFT	8,303.62	22.99	英10年債	4.2060%	0.0770%
DAX	19,104.10	▲ 16.83	豪10年債	4.2070%	0.1550%
ハンセン指数	23,099.78	362.91	USDJPY 1M Vol	13.40%	0.29%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.66%	▲0.07%
NY金	2,666.00	▲ 1.80	USDJPY 6M Vol	10.95%	▲0.11%
WTI	77.14	2.76	USDJPY 1M 25RR	▲0.99%	Yen Call Over
CRB指数	293.57	1.92	EURJPY 3M Vol	10.64%	▲0.15%
ドルインデックス	102.54	0.02	EURJPY 6M Vol	10.26%	▲0.12%

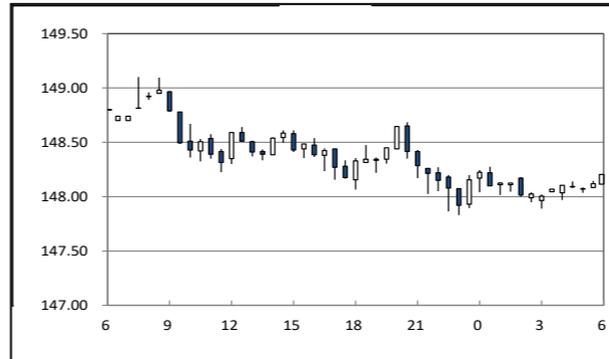
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月7日	14:00	日 景気一致指数・速報	8月 113.5	113.6
	15:00	独 製造業受注(前月比)	8月 -5.8%	-2.0%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月 0.2%	0.2%
10月8日	02:50	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	「金融政策を緩和することが正しい動き」	

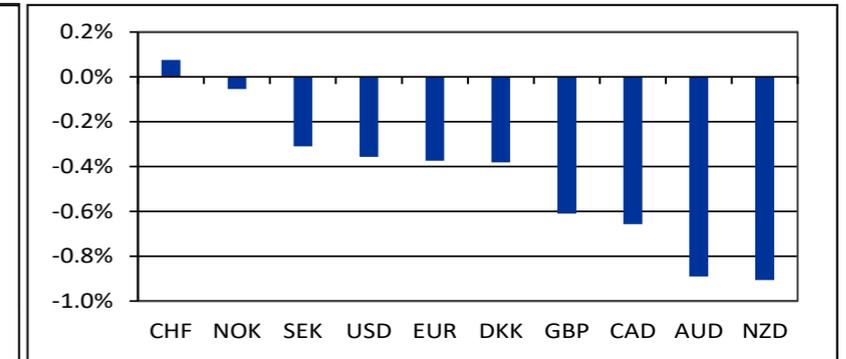
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月8日	08:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	10月 -	84.6
	09:30	豪 NAB企業信頼感/企業景況感	9月 -	-4/3
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	8月 0.8%	-2.4%
	21:30	米 貿易収支	8月 -\$70.5b	-\$78.8b
10月9日	01:45	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.00-149.00	1.0900-1.103	161.50-163.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は日本時間において三村財務官の「為替市場の動向は緊張感を持って注視していく」との発言を受け、一時的に円が買われる局面もあった。海外時間では注目の米経済指標発表が無い中、米金利低下に伴ってドル円も軟調な動きとなり、148.21でクローズ。
本日のドル円はもみ合いの動きを予想。昨日はFRB高官の発言機会があったものの、先の利下げパスを見通すうえでのヒントは出てこなかった。本日は目立った経済指標の公表予定もなく新規材料に乏しい中、大きな方向感はず、ポジション調整のもみ合いとなろう。昨日に続き、複数名のFRB高官が講演予定であり、そのスタンスには注目したい。

東京	東京時間のドル円は148.78レベルでスタート。朝方に三村財務官の「為替市場の動向は緊張感を持って注視していく」との発言を受け、一時的に円が買われる展開に。その後は全般的に動意が薄く、148.50付近でのみ合いが続き、148.49レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.49レベルでオープン。先週末の米雇用統計を受けた米利下げ織り込みの低下で全般にドル高基調。欧州株が弱含みで推移するのを横目にドル円はやや円高推移。148.26レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台後半でスタート。オープン直後は米金利の上昇を横目に、149.10まで上昇するも、その後は利益確定の売りや、三村財務官の円安牽制発言を受け反落し、148.26レベルでNYオープン。本日は注目の米経済指標発表が無い中、午前中は上昇していた米金利が上昇幅を縮小する動きに追随し、147.83まで下落。その後は売りを巡り、148.10付近まで徐々に戻る。午後は148円台前半付近を中心とした方向感乏しい推移が続き、148.21レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。ユーロ圏10月センチックス投資家信頼感指数が予想程悪化しなかったものの、ユーロドルは反応薄。その後も1.0970付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0977レベルでNYオープン。午前中は米金利が低下する展開を背景としたドル売りが支えとなり、1.0987まで小幅上昇。午後はドル売りを巡り、1.0966まで反落し、その後1.0975レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。